



ACCELERATING THE PROGRESS
OF AUTOMOTIVE INDUSTRY

Total Candidates
Trained for Automotive
1,22,932

Total Candidates
Certified for Automotive
77,485



日印技能実習生プログラム



Ministry of Skill Development
and Entrepreneurship



EMBASSY OF INDIA

「インドは今後10年間で4~5千万の余剰人材を抱え、世界最大の熟練労働力の供給国になることができます。」

- H.E. ナレンドラ・モディ インド首相

インドは現在、65%の青壮年労働力を抱える国です。

毎年1,200万人の若者が労働力に加わっている上、政府の国家技術開発ミッションとして、2022年までに4億人のインド人を訓練するという構想を持っており、「世界の技能資本」となる可能性を秘めています。

2015年~2016年には、13,353の職業訓練校(ITI)で126の職種において115万人以上の若者を訓練してきました。更に、3,850の職業能力開発大学(Polytech College)からは、毎年71万人もの若者を送り出しています。

海外では、約500万人ものインド人移住労働者が製造業、建設業、小売業、ヘルスケア業に従事しており、その多くが中東で働いています。

外国人技能実習生制度(TITP)は、インドの若者が高度な技術を身につけるための基盤を造り、さまざまな分野で日本の労働力を強化できる制度です。

技能開発・起業促進省(MSDE)の一部門である訓練局(DGT)は、2015年11月にJITCOと討議議事録(R/D)を締結し、TITPに加わりました。これに基づいて、DGTは、TITPのための送り出し機関として、5つの組織を認定しています(裏面参照)。また、MSDEは、日本政府とTITPに関するMoCに署名する議論を行っています。

「日本の外国人技能実習生制度(TITP)は、インドと日本の相互利益のために、お互いの強みを活かすことができる理想的な制度です。」

- H.E. スジャン・R・チノイ 在日インド大使

日本は高精度の製造と最先端技術の世界的リーダーであり、パイオニアであります。

より高度な経済成長を達成するための新しい産業政策である「メイク・イン・インド(インドでものづくり)」により、技能開発と人材訓練は、日印関係における重要な協力分野となっています。

日本企業がインドに進出する中で、この外国人技能実習生制度訓練を受けてインドに戻ってきた人材は、インドにおいて投資や事業を補完する役割を担っています。



派遣前トレーニング

送り出し機関は、実習に関連する経験と訓練を受けた候補者を選び、職場で日本人と会話をしたり、日本の生活に適應したりできるように、TITPの要件に従って日本語とエチケットの両方の訓練を行います。



日印技能実習生プログラム

リトゥ アガルワール
E: ritu.agarwal@nsdcindia.org
M: +91 98734 34114
A: 〒110037 ニューデリー、
エアロシティ、ワールドマーク
1、ウエストウィング 301

NSDC
www.nsdcindia.org
国立技能開発
株式会社

インド
認定送り出し機関

CUTM
www.cutm.ac.in
センチュリオン
テクノロジー&
マネージメント
工科大学

ムクティ ミシュラ
E: president@cutm.ac.in
M: +91 94370 07777
A: 〒751009 オリッサ、プバネーシュワル、
フォレストパーク17
Phone: +91 674 2596227
クナ ダッシュ(NPO法人インド日本友の会)
E: ij_fc@yahoo.co.jp
M: +81 90 3486 9403
A: 〒640-8151 和歌山県和歌山市屋形町 3-24